

小学英語教材を共同開発



県教委、ベネッセ 18年度導入向け

研修もスタート

全国に先駆け、2018年度から小学校教
育に英語を導入する福井県教委は、通信教育
大手のベネッセコーポレーション（本社岡山
市）と教材やテストを共同開発した。27日か
らは小学校教諭らを対象にした授業の進め方
などに関する研修会を実施、導入に向けた準
備を進めている。

（堀英彦）

文部科学省の次期学習指導
要領では20年度から、小学校
教育に英語が導入される。こ
れを受け県は、18年度から5
～6年生に英語科、3～4年
生には英語活動を先行実施す
る。英語科（年間70時間）で
……

は「聞く」「話す」「読む」
「書く」、英語活動（同35時
間）では「聞く」「話す」を
中心に教える。
指導案づくりの中で、民間
のノウハウを生かそうと県教
委は今年4月から、ベネッセ
と教材などの共同開発に着
手。指導案に基づき、絵付き
の単語カードや掲示用のポス
ター、ワークシートのほかス
ピーキングやリスニングのテ

合研究所

小学校での英語の授業の進め
方を映像を使って学んだ研修
会。28日、坂井市の県教育総
合研究所

ストなどを作成した。

英語の授業は基本的には学
級担任が行うが、外国語指導
助手（ALT）と一緒に進め
ることも想定されるため、英
語版の指導案もつくった。

同教委は27日から坂井市の
県教育総合研究所など県内7
カ所で、小学校教諭らに対象
に研修を実施。計4日間で約
400人が参加する。
28日に同研究所であった研

修会には、坂井、あわら市な
どから約50人が参加。県教委
の担当者が教材を紹介しなが
ら、具体的な授業の進め方、
授業の狙い、評価などについ
て丁寧に説明した。

研修後は「担任ではなく専
門の先生が授業を担当するこ
とは難しいのか」「ALTへの
研修は考えているのか」「数字
での評価はいつから始まるの
か」といった質問が出た。